

令和 2 年 6 月 6 日現在

機関番号：24501

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K13553

研究課題名（和文）出土資料研究によるチベット古代宗教の諸相解明

研究課題名（英文）A study on the religious practices in ancient Tibet

研究代表者

西田 愛 (Nishida, Ai)

神戸市外国語大学・外国学研究所・客員研究員

研究者番号：90723693

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,600,000円

研究成果の概要（和文）：20世紀初頭に敦煌石窟をはじめとする中央アジアの諸遺跡からもたらされた古チベット語文書の中には、手紙や裁判、契約、医学などの非仏教文献が多数含まれている。中でも古代チベットの土着宗教を基盤とし、その実例を反映する占い文書は、チベット古来の信仰の具体相を知る上で貴重な資料であるにもかかわらず、これまで十分に研究されてこなかった。

本研究では、古チベット語占い文書の解読と分析を進め、それらと同時代に作成された他言語の占い文献との関連や現代のチベット語文献との継承関係の解明に取り組んだ。また、土着宗教に関わる古チベット語文書についても解読と分析を進めることで、古代チベットの信仰の実態解明を目指した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、古チベット語占い文書の解読と分析を行い、それらと同時代に作成された他言語文書との比較研究を行った。これにより、古チベット語文書の作成された社会背景が明らかになるとともに、多民族が交錯する古代中央アジア世界の言語使用の実態や当該地域における文化交流の具体相が見えてきた。

一方で、本研究では、現代チベット社会で実践される占いや占い文書に対する調査を実施した。そこから得られた成果は、占いはじめとするチベット文化の連続性やチベットにおける文化継承のあり方を考える上で有益な資料となると期待できる。

研究成果の概要（英文）：Among the Old Tibetan texts from Dunhuang cave and other sites along the Silk Road, there exist so-called non-Buddhistic texts such as letters, contracts, and the medical texts etc. However, the divination texts, belonging to these non-Buddhistic genres, have not been fully studied ever before, in spite of their distinctive importance of presenting the examples of the local religious practices in the ancient Tibet. In this point of view, I have firstly examined the original Old Tibetan manuscripts concerning the divination and the religious practices in the ancient Tibet, and then worked on analyzing the details of them. Moreover, comparing them to the divination texts used in the modern Tibetan cultural areas and those written in Chinese and Sanskrit which are contemporary with the Old Tibetan texts, I could shed light on the understanding of Tibetan divination traditions.

研究分野：チベット文化史

キーワード：古代チベット 古チベット語文献 敦煌 占い Old Tibetan ブータン ラダック 古代チベットの信仰

1. 研究開始当初の背景

7世紀にチベット史上初の統一国家を築いた古代チベット帝国(吐蕃)では、インド、中国、中央アジアより伝わった仏教が国是とされた。その後、数世紀にわたって継続的に伝播した仏教の歴史はチベットの歴史そのものであるとさえ言われる。一方で、仏教史観によれば、古代チベットには **Bon** と呼ばれる土着宗教があった。仏教とは根本的に相容れない概念および実践をとまなう土着宗教は、前者との2-3世紀にわたる対立・拮抗に敗れ、チベット史上から姿を消してしまったという。ところが、20世紀初頭に敦煌石窟をはじめとする中央アジアの諸遺跡から出土した古チベット語文書の研究によって、古代チベットの宗教事情は仏教徒歴史家が想定していたよりも複雑であったことが徐々に明らかになってきた。例えば、仏教導入期のチベットでは、仏教理論の説明のために土着宗教の概念が利用されていたことが明らかとなっている(*1)。

一方で、これらの古チベット語文書には辞書にはみられない語彙や古典文法では説明し難い語法が頻出し、解読が非常に難しいという問題があるため、従来の研究では1点ないし数点の文書の内容を紹介する程度の単発的な研究が多かった。これに対して、武内紹人氏は非仏教文献である契約文書に対する網羅的解析を通して、古代チベット社会における売買・貸借の規範や賠償手段を明らかにするなど飛躍的な成果をあげた(*2)。同様に、総数が60点を超える占い文書についても、ひとつの研究分野として総合的に研究される必要があると言える。また、占い文書にはチベット古来の信仰に由来する神格や悪鬼、払魔儀礼やその実行者などが多数登場する。したがって、占い文書の網羅的解析により当時の宗教観や精神世界を詳細に検討することが可能になると考えられる。応募者は武内氏の手法に基づき、パラレルな書式や語彙・語法を抽出し、記述内容を分析することを通じて文書の解読を進めてきた。その成果は第1回育志賞を受賞するなど学際的な評価を得ており、本申請課題が採択されれば当該分野について更なる進展が見込まれる(*3)。

さらに、近年、欧米のチベット研究では占いや予兆といったテーマに対する注目が高まっている。たとえば、ドイツのフリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン・ニュルンベルクでは「中国およびその周辺地域における占い・予兆に関するプロジェクト」(Fate, Freedom and Prognostication)が推進されている。国際チベット学会でも2016年よりDivinationのパネルが設定され、応募者も発表を行った。以上のように、本研究の学術的成果は国際的な需要にも応ずるものであると言え、本研究を押し進めることで日本が当該研究分野において世界を主導できると考えられる。

*1: 今枝由郎(2006)『敦煌出土チベット文「生死法物語」の研究』大東出版社。

*2: Tsuguhito Takeuchi (1995) *Old Tibetan Contracts from Central Asia*. 大蔵出版。

*3: 西田愛(2012)「古チベット語占い文書の研究」(博士論文、神戸市外国語大学)。

2. 研究の目的

本研究では、占いをはじめとした古代宗教に関わる古チベット語文献の解読と分析を行う。そこから得られた成果を、それらと同時代に作成された漢語やサンスクリット語などの他言語占い文書と対照させることで、チベット語文書が作成された社会言語学的背景を明らかにする。また、現代のチベット文化圏で行われている占いや土地神への儀礼についてフィールド調査を実施し、古文書中の専門用語の理解や、占いおよび儀礼の実施状況の検討に役立てる。これらの2つのアプローチにより、古チベット語文書についての総合的な研究に取り組み、古代チベットの信仰の実態解明を目指す。

3. 研究の方法

本研究の核となるのは、古チベット語占い文書の解読と分析である。そこで、まず第一に、古文書の正確なテキストデータを作成し、検索可能なデータベースを構築した。このデータベースは、本研究に役立てるのはもちろんのこと、古チベット語文献に関わる国内外の研究者に広く活用されるツールとすべく、随時オンラインに公開している(<https://otdo.aa-ken.jp>)。

本研究では、これまでに基礎的な研究を完了している古チベット語サイコロ占い文献(23点)について、未解読語彙と書式の分析を進めた。そのほか、次の4種の古チベット語文献を新たに研究対象とし、解読と分析に取り組んだ。

『十二縁生祥瑞経』に類する占い文献(4点)

『置換』(4点)

『神国道説示』(4点)

『輪廻形態説示』(3点)

上記の②~④の3文献は、初期の仏教伝道者たちが、非仏教徒であるチベット人に対して、当時に行われていた宗教的実践の無益さを説き、仏教の基本的な概念を平易に説明した文献である。そこに批判される当時の宗教的実践の内容の分析から古代の信仰の一端がみえてきた。

一方で、古文書中の占いの多くは現代でも実施されている。例えば、チベットやブータンの仏教寺院では、サイコロを使用した占いが行われており、特にブータンの寺院では古文書に類

する古い写本が存在することがわかってきた。そこで、現代の占ト書においても古文書中の専門用語や概念などが継承されている可能性があると考え、現代チベット文化圏において僧侶や占星術師、シャーマンなどへの聞き取り調査や、古い文献の収集を目的としたフィールド調査を行った。その成果を古文書の解読および古代の占いの実施状況の検討に役立てると同時に、古代から現代へと継承された文化要素についても検証した。

4. 研究成果

本研究の成果は、以下の2点にまとめられる。

(1) 古チベット語文書に関する研究成果

本研究では、研究開始前にすでに基礎的な研究を完了していたサイコロ占い文書について、詳細な分析を行った。まずは、書式の分析と定型表現の抽出を通して23点の文書を2つのグループに大別した。そのうちの一方にのみ散見される未解読語彙について検証を進めた結果、音節構造の特徴などから、これらの語彙が古シャンシュン語と関連することがわかった。この知見は、古代チベットのサイコロ占いがシャンシュン国に由来すると述べた先行研究を支持する材料となる。

次に、チベット大蔵經に収録される『十二縁生祥瑞經』に類似する古チベット語文書の解読と分析を進めた。それにより、4点の古チベット語文書における記述内容の異同がはじめて明らかとなった。さらに、その成果を大蔵經中のチベット語テキスト(a.)、大正新脩大蔵經中の漢語テキスト(b.)、ネパールのアーシャアーカイプス中のサンスクリット語テキスト(c.)の内容と対照させた。先行研究によって概要が示されていた(a.)、(b.)、(c.)のテキストについて、古チベット語文書を比較対象に加えることで、テキスト間の差異の詳細とその原因について分析することができた。古チベット語文書は、現存する(a.)～(c.)のテキストよりも古く、この種のテキストとしては最も古形を保存している可能性が高いことがわかった。

さらに、上記の②～④文献、すなわち初期の仏教伝道者たちが、非仏教徒であるチベット人に仏教の教えを説く一連の文献についても解読と分析を進めた。これにより、古代チベット人の持っていた生後の世界観や、当時の社会で実施されていた葬送儀礼の詳細、そしてその意義が初めて明らかとなった。

(2) 現代チベット文化圏におけるフィールド調査の研究成果

本研究では、研究初年度と最終年度に、現代のチベット文化圏で行われている占いの実地調査を実施した。初年度の調査では、インド・ジャンム・カシミール州に位置するラダック地方およびザンスカル地方において、僧侶や占星術師へのインタビューを行なったほか、寺院の所有する古い文献を収集することができた。ザンスカルでは、占星術師(ツィーパ)とニンマ派の在家行者(ンガクパ)から占星術やサイコロ占い、土地神や死霊、生き霊への儀礼について話を聞くことができた。

研究最終年度に実施した第2回目の調査では、東ブータンの仏教寺院においてサイコロ占いの実地調査と古い写本の収集を行なった。また、高僧であるトゥルク(転生ラマ)へのインタビューにも成功し、ブータンでは2つのレベルのサイコロ占いが実施されていることがわかった。このうち、民間によく知られているサイコロ占いについては、すでに西ブータン～中央ブータンで実施済みの調査結果と統合し、国際学会(第19回国際仏教学会、2021年開催予定)上に発表することが決定している。それによれば、ブータンでは、各地域の土地神が当該地域のコミュニティの守り神としての機能を未だに保持していることがわかってきた。これは、社会の細部まで仏教化が進み、サイコロ占いの神格にも汎仏教的な神格が必要とされている他の地域には見られない現象であり、非常に興味深い。

さらに、本研究では、中央ブータンで現在でも広く普及しているケーブ・ルンツェン(skyes bu lung btsan)に対する法要儀軌書の翻訳・研究にも取り組んだ。ケーブ・ルンツェンは、中央ブータンのブムタン地方を構成する4つの谷の守り神であり、地元の伝承によれば、ブータン人の埋蔵法典発掘僧(テルトン)として著名なペマ・リンパ(Pad ma gling pa)の子息であるダワ・ギェルツェン(Zla ba rgyal mtshan)が東チベットのカムからブムタンへ帰郷する際に連れてきたと言い伝えられている。それ以来、現在に至るまでブムタン地方の人々に広く信仰されている神格である。ケーブ・ルンツェンに対する短い法要儀軌書は、チベット仏教におけるこの種の著作の典型であり、この神格が本来持っていた荒々しい性格が儀軌書の端々に見て取れる。古文書に記された古代の土地神への儀礼を検証する上でも重要な指針となることが期待できる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Ai Nishida	4. 巻 61
2. 論文標題 Two Tibetan Dice Divination Texts from Dunhuang: Pelliot tibetain 1046B and IOL Tib J 740	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Central Asiatic Journal	6. 最初と最後の頁 133-150
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 西田愛・今枝由郎・熊谷誠慈	4. 巻 19
2. 論文標題 中央ブータンの守護尊・ケーブ・ルンツェンの法要儀軌（翻訳編）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ヒマラヤ学誌	6. 最初と最後の頁 49-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 西田愛・今枝由郎・熊谷誠慈	4. 巻 43
2. 論文標題 敦煌出土チベット文『輪廻形態説示』-古代チベットにおける初期仏教伝道文学作品-	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 通信	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 西田愛・今枝由郎・熊谷誠慈	4. 巻 70(1)
2. 論文標題 古代チベット人の死後の世界観と葬送儀礼の仏教化 -敦煌出土『生死法物語』『置換』『神国道説示』三部作の研究-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 神戸外大論叢	6. 最初と最後の頁 87-130
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 西田愛	4. 巻 5
2. 論文標題 『黒狐の谷』の楽しみ方 -作家のフィルターを通したオムニバス映画の楽しみ方-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 チベット文学と映画製作の現在 SERNYA	6. 最初と最後の頁 34-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 3件)

1. 発表者名 Ai Nishida
2. 発表標題 Old Tibetan divination texts and Zhangzhung language
3. 学会等名 International seminar on Tibetan language and historical documents (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西田愛
2. 発表標題 古チベット語文献オンライン
3. 学会等名 情報を育て活かす (情報資源利用研究センター設立20周年記念シンポジウム) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ai Nishida
2. 発表標題 A divination method according to the twelve Nidanas
3. 学会等名 15th seminar of the International association for Tibetan Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ai Nishida
2. 発表標題 Old Tibetan dice divination texts
3. 学会等名 Chinese divination traditions in conversation: Mahesvara's divination explanations in Chinese and Transcultural contexts (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 西田愛ほか、岩尾一史・池田巧 (編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 京都大学人文科学研究所	5. 総ページ数 446
3. 書名 チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開	

1. 著者名 Ai Nishida et al., Donatella Rossi, Petra Maurer, and Rolf Scheuermann (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Brill	5. 総ページ数 218
3. 書名 Glimpses of Tibetan divination, past and present	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------	---------------------------	-----------------------	----